

タイトル 講評

助言者 神奈川総合高等学校長 八田 直昭

【鶴見総合高等学校PTA】

今回、鶴見総合高校は、「小さな声でも聞いて行こう～これからの活動のためにたくさんの意見を聞く。保護者対象のアンケートの実施～」と題して、PTA に対する意識について研究していただき、イメージを調査・解析していただきました。

アンケート調査を行うにあたって、回答を回収する作業、データ整理作業大変だったと思います。それらまとめていただいて発表していただきありがとうございました。

どこの学校の PTA でも直面している、「非加入問題」「役員選出問題」に対し、みなさんのこれからの意気込みを強く感じられる内容でした。また、私が今まで抱いていたイメージと今の保護者の考え方にギャップがあることを感じ、私自身もこれからの PTA 活動に対する考え方をアップデートしていくことが必要だと思っております。

PTA 活動に興味を持っていただくには、活動を継続していくには、そしてみんなが笑顔になるためにはどうしていくのか。今回の発表の続きをぜひ見てみたいという気持ちが出てきました。

これからも「何があっても負けない人間力」の育成のサポートを PTA の活動を通して頑張ってください。

【神奈川工業高等学校PTA】

今回、神奈川工業高校は「保護者から見た「かなこう」の魅力」と題して、学校の特色、魅力を紹介していただきました。

私は、「かなこう」の隣にいますが、別に住んでいるわけではないのですが、校門のところで保護者の方が花壇の手入れをしているのを見かけます。

気が付くと、先生の協力によりスプリンクラーがついたり、そして本日は、生徒によるダンスの披露をしていただくなど、保護者や教員そして生徒との協力関係が普段から自然にできている感じがいたしました。そこには、生徒、保護者、教員の「かなこう」への愛が感じられます。

最初は興味だけだったかもしれない、それがいつのまにか「かなこう」への魅力にどっぷりつかって、今この気持ちをわかってほしい、他の人にも知ってほしいという気持ちがひしひしと私には伝わってきました。そんな発表でした。私としては、この愛がこの後どのように熟成されていくのか、「かなこう」への歴史や絆に繋がっていくのか、今後の PTA 活動を見てみたいと思いました。

「わが子がこの学校で学べて良かった」という気持ちがこれからも広がっていくことを期待しております。